

放送大学奈良学習センター オンライン連続セミナー 「教育臨床の最前線」

第5回 2026年2月8日(日) 14時30分～16時30分 (Zoomによる開催)

「愛着障害と発達障害－その違い、関係、支援－」

講師：米澤 好史氏(和歌山大学教育学部教授)

愛着障害は発達障害とよく似た特徴も示し専門家でも峻別できていないケースが多く見られます。また愛着障害と発達障害の関係をどう捉えるかの共通理解もされていない現状です。そもそも、愛着とは、愛着障害とはどう捉えるべきなのか？アタッチメント理論や精神医学会の捉え方の問題点も指摘しながら、現場での愛着障害への支援に長年取り組んできた立ち場から、できるだけ広く愛着障害を捉えるべきであること、愛着形成に必要な3基地機能、愛着障害とは何の障害なのか、愛着障害と発達障害の違いと見極め方、愛着障害と発達障害の関係、愛着の問題の様々な現れ方、愛着の問題を抱えるこどもへの適切ではないかかわり方、愛着障害への支援のあり方を「愛情の器」モデルに基づく愛着修復プログラムを紹介しながらお話したいと思います。



こんな書籍も執筆されています。



【参加申し込み方法】

参加を希望される場合は奈良学習センターウェブサイトまたは下のQRコードからお申し込みください。

実施3日前を目途にお申し込み頂いた方個人ごとのメールアドレス宛にZoomのURLを送信いたします。



主催 放送大学奈良学習センター (Tel:0742-20-7870)
共催 奈良国立大学機構奈良カレッジズ連携推進センター

講師紹介：米澤 好史(よねざわ よしふみ)

奈良県出身。京都大学大学院文学研究科博士後期課程中途退学。専門は臨床発達心理学。臨床発達心理士スーパーバイザー・学校心理士スーパーバイザー・上級教育カウンセラー・ガイダンスカウンセラー・スーパーバイザー。主な著書に『やさしくわかる! 愛着障害—理解を深め、支援の基本を押さえる』『愛着障害は何歳からでも必ず修復できる』など多数。現場の視点を大切に支援者が元気が出て納得できるアドバイスが信条。

オンライン連続セミナー「教育臨床の最前線」開催趣旨

いじめやひきこもり、不登校、リストカットやオーバードースなどの自傷行為、希死念慮など、近年、子どもや青少年をとりまく環境はますます困難なものになりつつあります。このオンラインセミナーでは、教育学や心理学、精神衛生の分野の第一線で活躍されておられる専門家を講師としてお招きして、教育の「最前線」でいま何が起きているのか、どういった支援が求められているのか、わたしたちおとなに何ができるのかについて、お話いただきます。

教育現場で子どもや青少年の教育に携わっておられる方、子育て中の方、広く教育に関心のある方、どなたでも参加できます。この分野の専門家である先生のご講演を聞くことができるのは貴重な機会です。ふるってご参加ください。

他回のご案内 こちらも是非ご参加ください。

(1回のみのも参加でも可) 詳細は放送大学奈良学習センターウェブサイトをご覧ください。

第1回 2026年1月11日(日)14時30分～16時30分

「子どものいのちを守るためにできること～おとなに求められる子どもの自殺予防～」

講師：阪中 順子氏(日本自殺予防学会理事)

第2回 2026年1月18日(日)14時30分～16時30分

「いじめの重大事態への対応～「調査に関するガイドライン」の改訂をふまえて～」

講師：新井 肇氏(関西外国語大学外国語学部教授)

第3回 2026年1月25日(日)14時30分～16時30分

「学校における心理教育と子どもの支援の実際—「SOSの出し方教育」の実践から」

講師：水野 治久氏(大阪教育大学教授／副学長)

第4回 2026年2月1日(日)14時30分～16時30分

「不登校の子どものこころと保護者の支援」

講師：伊藤 美奈子氏(神戸女子大学教授／奈良女子大学名誉教授)

第6回 2026年2月15日(日)14時30分～16時30分

「自傷行為の理解と援助」

講師：松本 俊彦氏(国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 薬物依存研究部 部長／薬物依存症センター センター長)